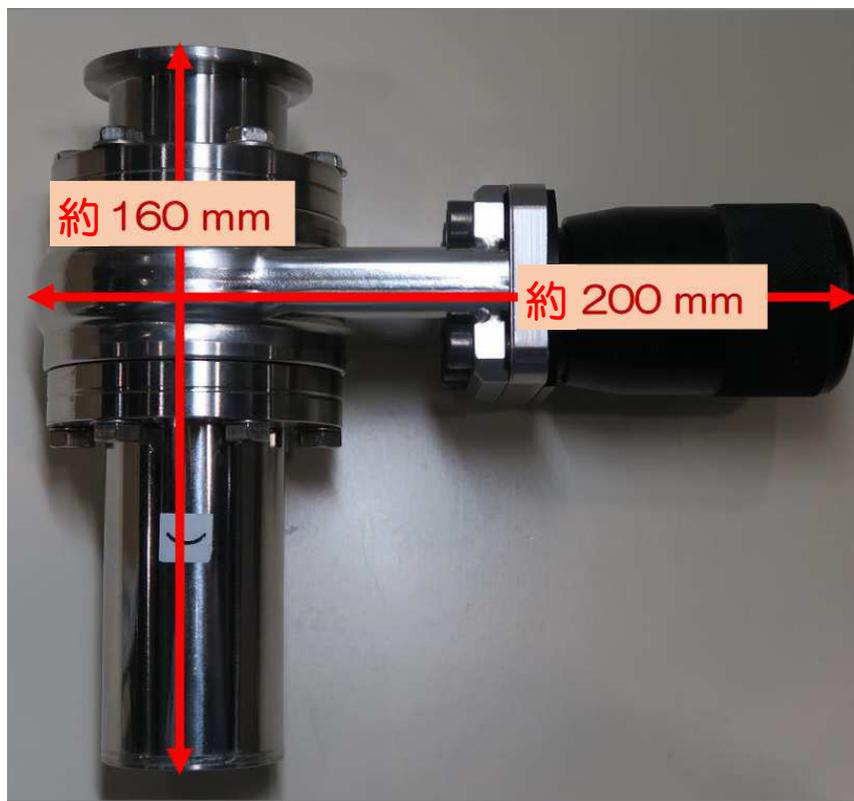


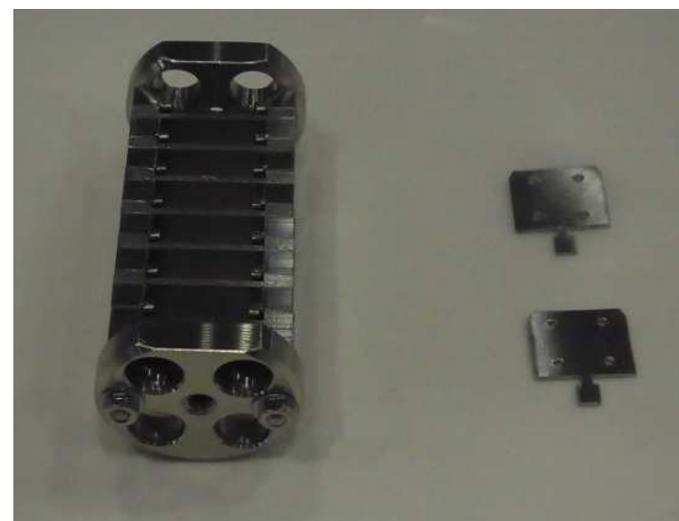
AichiSR BL6N1 トランスファーベッセルの使用 方法 (真空XAFS・XPS装置用)

- ※ 本トランスファーベッセルは、AichiSRの軟X線ビームライン（BL1N2、BL6N1、BL7U）で共通型のものです。
- ※ 本資料は BL6N1 の使用方法を説明しています。
- ※ BL1N2 や BL7U では運用や試料準備の方法が異なる場合がありますので、各ビームラインの担当者にご確認ください。

1. 構成



トランスファーベッセル本体



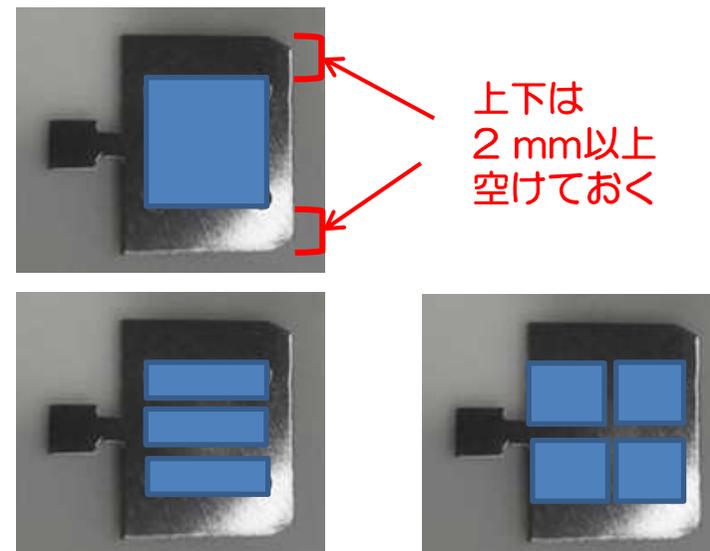
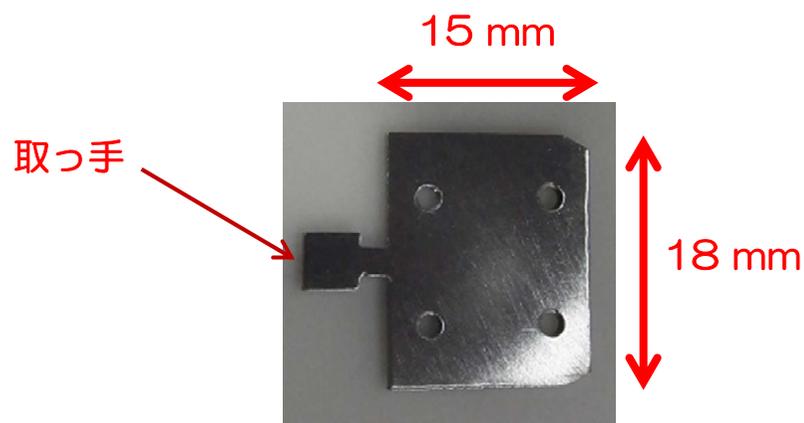
(左) サンプルバンク
(右) サンプルプレート

2. 試料準備

カーボン導電性テープ等でサンプルプレートに試料を固定する。

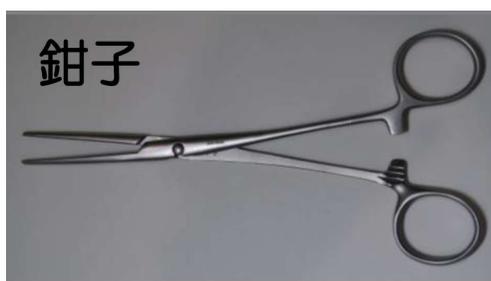
- ※ サンプルプレートの「取っ手」を**左向き**にして準備する。
- ※ 上下に**2 mm程度**以上スペースを空ける。
(サンプルプレートを板ばねで固定するためのスペースが必要)
- ※ 一枚に複数試料を貼付可能。ビームが横長 (**縦 約1 mm×横 約2 mm**) であるため、試料は横長に並べると測定し易い。
- ※ **絶縁体試料**については、**試料表面から試料ホルダへ導通を取る**こと。
- ※ 試料の高さは**3 mm以下**に調整する

サンプル固定の例



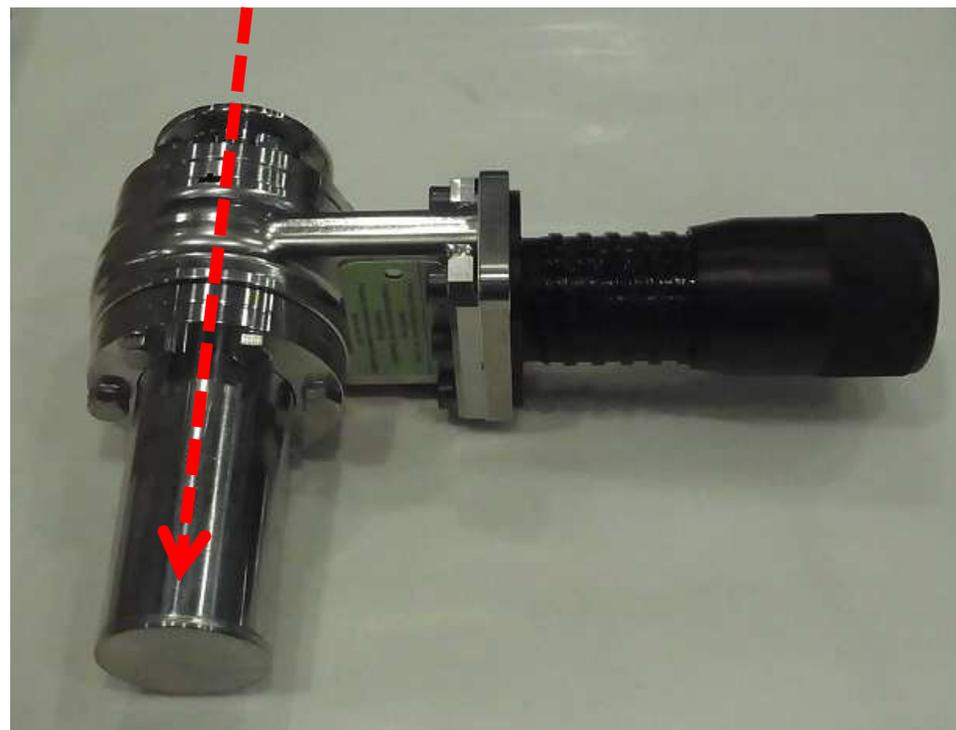
3. ベッセルへの封入

- ① サンプルプレートサンプルバンクに挿入



※ サンプルプレートと
サンプルバンクの把持は
鉗子で行ってください。

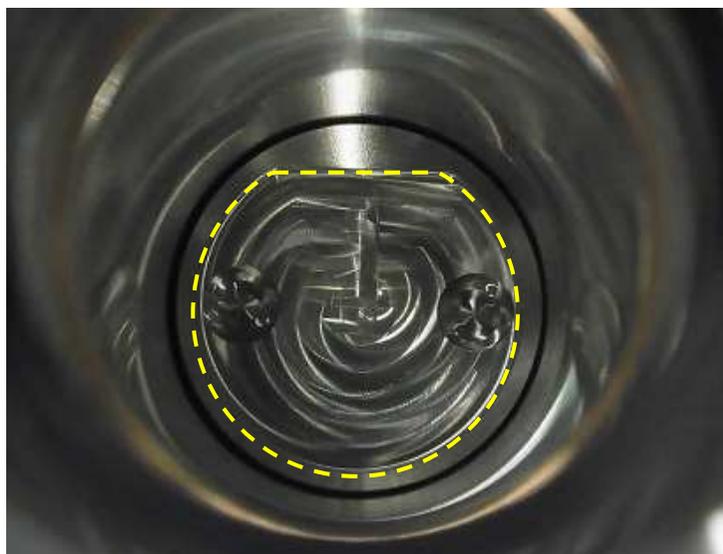
- ② サンプルバンクをベッセルに挿入し
バルブを閉じる



※ バンク収納時の注意点

ベッセル底部にサンプルバンク回転防止用の溝が設けられています。
バンク挿入後、バンク下部が溝にはまるまでバンクを回転して下さい。

挿入前



下部に溝あり

挿入後



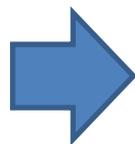
溝にはまり固定された状態

4. ケースへの収納

トランスファーベッセルを輸送する場合は、専用ケースに収納する。
 収納後は、バンクがベッセル底部の溝から外れることを防止するため、ケースを極力傾けないようにする。



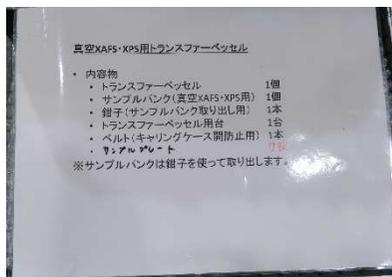
トランスファーベッセルと
 付属品を収納。



梱包材で保護。



ケースを閉じ、
 ベルトで固定する。



付属品については
 収納品リスト
 をご確認ください。

5. チェンバーへの取付

ロードロックチェンバーの取付ポート（NW40）に接続し真空引き後、
上側のトランスファーロッドでサンプルバンクを引き抜く。
（その後、サンプルプレートを分析チェンバーまで移送する。）

